

皆川濛さん 和子さん 親子三代でお世話になりました

(父) 新園舎になって初めての PTA 会長を務め、子供と孫が通い世代を越えてお世話になりました。中幼稚園は昔からチームワークが良く、新しい園庭の整備や旧園舎からの引っ越しなど、常に助け合ってきました。幼稚園がなくなると聞いた時は寂しく思いましたが、中地区の子供たちは幼稚園が変わっても今までどおり、元気に仲良く通ってくれると思います。(長女)幼稚園の写真を見ると、鮮明に当時のことを思い出します。廃園の話を聞いた時は、もちろん寂しい気持ちもありましたが、子供にとっては友達がたくさんいた方がいいのかなと思います。中幼稚園はこどもルームとして利用されていますので、3人目の子供と一緒に遊びに行きたいと思っています。

心の中にある思い出はいつまでも消えません

中幼稚園を卒園して 20 年程たちますが、アルバムを見返すとその当時を鮮明に思い出します。お母さんの自転車の後ろに乗り幼稚園まで通ったこと、担任の坂倉先生、渡辺先生が優しく出迎えてくれたこと、青色の幼稚園服に黄色のかばん、教室で友達と遊んだこと…。特に印象に残っているのが、夏の夜の夏祭りで、浴衣を着てかき氷を食べたことです。準備などで先生や PTA の方々はきっと大変だったと思います。皆さんに温かく守られていたことを今は実感できます。

小学校に入学してからも、遊びに寄れるそんなアットホームな中幼稚園 の廃園はやはり寂しいですが、アルバムの中にはないたくさんの思い出も ずっと消えることはありません。





多くの子供と触れ合い、多くを学んでほしい

昭和 62 年 PTA 会長を務めたときのことです。当時担任の平山美江先生と越川成子先生はとても教育熱心で「子供たちはたくましくあるべきだ」と山歩きやサツマイモ掘りなど、自然と触れ合う大切さを教えてくれました。クリスマス会で、私がサンタの格好で登場したとき、子供たちの喜んだ顔や驚いた様子は今でも覚えています。元気がよく動ける子供たちだったので、先生方にはとても感謝しています。

開園以来 54 年間、たくさんの思い出を残してくれた常磐幼稚園がなくなるのは寂しいですが、少子化のため仕方のないことかなと思います。これからは多くの子供と触れ合い、多くのことを学ぶため統合もやむを得ないのではないでしょうか。

小さかった娘がこんなにも…

数年前、沖縄で療養している義父の面倒を見るため、妻は娘を連れて 多古町と沖縄を行ったり来たりしていました。到着ロビーで待つ私を見つ け、笑顔で走って来る娘に涙があふれました。娘は生まれたときに体重が 軽く、歩くのもみんなより遅かったため心配する毎日でした。

先日行われた卒園式での「呼びかけ」や「歌」を大きな声で行う姿に昔を思い出し、娘の成長をうれしく思いました。今年の卒園生8人はとても元気が良く、この子たちを預かつてくれた先生方は苦労したと思います。 ありがとうございました。現在は常磐小学校に通っていますが、ただ元気で健やかに育ってくれればと願っています。



さようなら 大好きな幼稚園



3月16日、町内全幼稚園の卒園式が行われました。平成23年度をもって廃園となった、中幼稚園・常磐幼稚園では最後の卒園式となり、中幼稚園53年、常磐幼稚園54年の歴史に幕が下ろされました。長きにわたり地域とともに歩んできた幼稚園には、たくさんの思い出があり、携わった方々の思いがありました。

3 ······ _{広報}**たこ** 2012.5